

## 研究テーマ「ボディパーカッション de 仲間づくり」

ボディパーカッション教育は「音楽活動」「特別活動」等を通し児童生徒の「仲間づくり」を目指します。

“すべての子どもたちが楽しめる”インクルーシブ教育、合理的配慮が可能な教材です！

「ボディパーカッション教育」を知っていますか？ “仲間づくり”ができる音楽教育教材です。

本研究会は、実践講座(ワークショップ)を、ボディパーカッション教育考案者の山田俊之が行い、それらの実践の意義や有効性について、「“仲間づくり”と特別活動」(杉田洋先生)、「“仲間づくり”と音楽教育」(津田正之先生)の観点から、平成29年告示の新学習指導要領に基づき解説やシンポジウムをして頂きます。

本研究会を通して多くの教育・福祉関係の方々が学び合えることを願っています。

～ボディパーカッション教育を100年後100か国の子ども達へ伝えるために since 2006～

代表 山田 俊之

- 1 日時 11月11日(日) 12:50～17:00 (受付:12:20～12:50)
- 2 会場 東京・国立オリンピック記念青少年総合センター(センター棟310号室)  
アクセス:小田急線参宮橋駅より徒歩7分  
京王バス新宿駅西口16番乗車(約15分)「代々木5丁目」下車
- 3 参加費 一般:3,000円、学生:1,000円(楽譜教材、研究会資料代含む)
- 4 講師  
特別講師 杉田 洋氏 国学院大学教授、前文部科学省初等中等教育局視学官(特別活動)  
特別講師 津田正之氏 国立音楽大学教授、前文部科学省初等中等教育課程課教科調査官(音楽教育)  
講師 山田俊之 九州大谷短期大学教授、ボディパーカッション教育考案者、研究会代表  
講師 山田淳司 厚木市立毛利台小学校校長、  
ボディパーカッション教育認定指導者団体「スクラムハート」代表
- 5 主催 NPO法人ボディパーカッション協会、ボディパーカッション教育振興会
- 6 申込先 [body@tebyoushi.com](mailto:body@tebyoushi.com) 問い合わせ:TEL 090-8419-6219(山田)

\* 参加希望の方は連絡先(メール)に、氏名、職業または職種、(学生の場合は大学名・学年)、連絡先等を送信してください。

### 7 内容

- (1) 開会 12:50～
- (2) 実践講座①:「基礎から学ぶ、ボディパーカッション教育実践」13:00～13:40(40分)  
講師: 山田俊之  
内容: 「リズムのコール&レスポンス」で導入を行ない、ボディパーカッション曲「キッズウエーブ」  
「手拍子の花束」を使って、クラスづくりに役立つボディパーカッションの実践例を、参加者の方々と  
ワークショップします。
- (3) 理論講座① 「ボディパーカッション教育の音楽的意義」(講話) 13:45～14:25(40分)  
講師: 津田正之先生  
内容: 音楽教育の有効性を、津田正之先生が新学習指導要領に基づき解説します。小・中・高校、  
特別支援学校の音楽科授業や小・中学校のクラスづくり、などで活用できる内容です！

(4) 実践講座② 「アドリブ (即興表現) から生まれる仲間づくり」 14:30~15:20 (50分)

講師: 山田俊之、山田淳司「スクラムハート」メンバーがアドリブをサポート

内容: ボディパーカッションを使って、即興表現づくりの実践例を、参加者の方々とワークショップします。リズムを奏でると不思議なことに「望ましい人間関係」が身体を使って生まれます。受講者が全員参加して、グループごとにアドリブを作り発表します。

(5) 理論講座② 「特別活動と仲間づくり」 (講話) 15:25~16:05 (\*40分)

講師: 杉田 洋先生

内容: 「より良い人間関係を築く特別活動」の教育的意義について話して頂き、前時で行った実践講座①②や実践発表を踏まえてボディパーカッション教育の効果について述べて頂きます。

(6) シンポジウム 「ボディパーカッション活動の教育的意義について」 16:10~16:50 (\*40分)

<パネラー>

杉田 洋氏 (国学院大学教授、前文部科学省初等中等教育局視学官: 特別活動)

津田正之氏 (国立音楽大学教授、前文部科学省初等中等教育課程課教科調査官: 音楽教育)

山田淳司氏 (厚木市立毛利台小学校校長、ボディパーカッション教育認定指導者「スクラムハート」代表)

<コーディネーター>

山田俊之 (九州大谷短期大学教授、ボディパーカッション教育考案者)

(7) 閉会 16:50 17:00 解散

## 8 その他

\* 本研究会では、現職先生方はもちろん、将来教職に就く学生の方々も一緒に勉強していければと思います。よろしくお願いいたします。

### 【特別講師】



杉田 洋 先生

国学院大学教授。浦和市小学校、浦和市教育委員会・さいたま市教育委員会勤務等を経て、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省初等中等教育局教科調査官、同視学官を務めた。平成27年4月より現職。モンゴル教育大学客員教授。日本特別活動学会理事。NHK「でーきた」番組委員。エジプト・日本教育パートナーシップに基づき、TOKKATSUの導入に取り組む。著書『よりよい人間関係を築く特別活動』図書文化社2009、『小学校新学習指導要領の展開 特別活動編 平成29年版』他多数。



津田正之 先生

国立音楽大学教授、博士(音楽)。元北海道公立小学校教諭、元琉球大学教育学部准教授、前国立教育政策研究所教育課程調査官並び、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。ボディパーカッション教育については、20周年記念研究発表会(2006年・福岡)、25周年記念研究発表会(2011年・東京)で音楽科学習指導要領に基づいた解説や指導、シンポジウムを行った。著書『アクティブ・ラーニングの視点を生かした授業』(編集代表、弘前大附属小等との共著)、東洋館出版、2016、他多数。

### 【講師】



山田俊之

山田淳司

#### 【ボディパーカッション教育認定指導者グループ“スクラムハート”】

1986年・小4年“キレル子ども”きっかけにボディパーカッション教育を考案した山田俊之が、2007年より東京銀座山野楽器本店で行っている「ボディパーカッション指導講座」(現在25回継続中)を受講し、指導者認定を受けたメンバー。現在、代表の山田淳司氏を中心に小・中・大学、特別支援学校教師、幼児教育、音楽、福祉関係者他で構成している。